

令和元年9月13日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

総務文教常任委員会
委員長 原 賢 志

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

健全財政について

2 調査目的

健全な財政運営のため

3 調査の経過（中間報告以降）

平成30年10月30日

今後の調査の進め方について協議・検討を行った。

平成30年11月13日

総務課長の出席を求め、中間報告に対する町当局の対応について説明を受けた。

平成31年1月17日、平成31年2月5日

今後の調査の進め方について協議・検討を行った。

平成31年2月15日

総務課長の出席を求め、人口減少社会における今後の財政運営について説

明を受けた。

□平成31年4月18日、令和元年5月23日
今後の調査の進め方について協議・検討を行った。

□令和元年6月7日
委員が講師となり、委員間で財務指標の分析に関する勉強会を行った。

□令和元年7月18日、8月20日
委員会調査報告書について協議・検討を行った。

4 調査結果

当総務文教常任委員会は、健全財政について、「経常収支比率」に着目し調査を行ってきた。当町における財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、年々硬直化しており中間報告において今後の予測と対応について指摘、提言を行ったところであるが、具体的な取り組みが希薄でないかと思慮される。

よって、健全な財政運営のために、財政力指数や実質公債費比率、将来負担比率等との関係性を分析するとともに、短・長期的な資金収支計画を明確にし、分析を行うべきである。併せて、財務4表及び附属明細書に基づいた財政分析を行い、類似団体等や各指標等との比較分析を実施し、改善点を明確にした計画的推進を行うべきである。

なお、下記事項の改善策を講ずること。

記

1. 経常収支比率の具体的改善策を明示すること。なお、経年推移を公表すること。
2. 財務書類4表等に基づいた財政分析資料を定期的に公表すること。
3. 財務書類分析に基づく類似団体等との比較表を作成すること。
4. 財政状況等（予算・決算）に関する町民誰もが分かりやすい資料等を公表すること。ただし、現在までの公表資料の改善を図ること。